

令和4年度 第1回 龍ヶ崎市男女共同参画推進委員会 会議録

			記録者	こども家庭課 木村	
供 覧	部長	課長	課長補佐	主査・係長	グループ員

件 名	令和4年度 第1回 龍ヶ崎市男女共同参画推進委員会
日 時	令和4年7月11日（月）午前10時00分～午前11時38分
場 所	龍ヶ崎市役所全員協議会室
出 席 者	<p>【委員】 川崎愛会長，横岡明彦副会長， 田中加代委員，國府田克也委員，岡林正信委員，堀端克久委員， 山宮留美子委員，城倉純子委員，山中せつ子委員，松本雅彦委員， 平出恵美子委員，小林史人委員，中山和枝委員</p> <p>【事務局】 福祉部 岡田部長 福祉部こども家庭課 蔭山課長，二野屏課長補佐，記録者</p>
傍 聴 者	0人
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 議事録署名人選出 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度推進事業の報告について (2) 令和4年度推進事業の予定について (3) その他 5 閉会

発言者	審議の内容
事務局	<p>定刻となりましたので、ただ今から令和4年度第一回龍ヶ崎市男女共同参画推進委員会を開催いたします。</p> <p>本日は、大変お忙しいところ、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。まず、初めに資料の確認をお願いします。本日の次第、別紙（令和4年度龍ヶ崎市男女推進事業予定）がありますでしょうか。</p> <p>続きまして、新たな委員の、ご紹介をさせていただきます。始めに、龍ヶ崎市教頭会より、松本雅彦委員、龍ヶ崎市PTA連絡協議会より、平出恵美子委員です。石川委員におかれましては、所用により、欠席のご連絡を頂いております。</p> <p>続きまして、事務局職員の自己紹介をさせていただきます。</p> <p>（職員自己紹介）</p> <p>岡田福祉部長 こども家庭課長 蔭山 家庭子育て応援グループ 木村</p> <p>最後に司会を務めさせていただきます、私、家庭子育て応援グループリーダーの二野屏でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>ここで、本日の委員の出席者数を確認させていただきます。委員総数14名のうち、出席者が「13名」でございます。出席委員が過半数に達しておりますので、本会議が成立したことを報告いたします。</p> <p>それでは、龍ヶ崎市男女共同参画推進委員会設置条例第5条第1項の規定により、会議の議長を川崎会長をお願いいたします。</p>
川崎愛会長	<p>それでは、議事の進行を務めさせていただきますが、その前に本日の議事録署名人を指名により選出させていただきますと思います。</p> <p>今回は、城倉委員と山中委員をお願いいたします。</p> <p>（城倉委員と山中委員承諾）</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>初めに、「(1) 令和3年度推進事業の報告について」、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(1) 令和3年度推進事業の報告について (事務局説明)</p>
川崎愛会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>事前のご意見ご質問等は、皆様の方からなかったのですが、私の方で2件あります。</p> <p>まず、指標2ページの指標になります。市の男性職員の育児休業取得率が100%のことですけれども、この期間に関して、かなり男女比があるかと思っておりますので、その育休の期間に関して質問をしております。</p> <p>それから指標の3ページにあります。8の市におけるDV相談件数です。このDVの相談件数に関して先ほどご説明くださったのですけれども、2020年は39件で21年度を24件というふうに検証しております。</p> <p>この減少した背景といいますかコロナ禍の影響がいろいろある年でもあったと思っておりますので、その減少がどうして実現できたのかを簡単にご説明いただきたいと思います。</p>

事務局	<p>それではいただいた質問につきまして、回答させていただきます。</p> <p>まず一つ目の指標1の市男性職員の育児休業取得率の件でございます。</p> <p>市の職員の育児休業の規定によりますと、出産から3歳、子供が3歳になるまでの間に、育児休業ということで取得することができます。これは女性職員の方の期間と同様でございます、その中で対象となる令和3年と対象となった職員が4名おまして、取得の日数としましては、3日であったり、3週間程度だったり、2回に分けて9日それから15日というような取得の仕方をしております。4名すべての職員が育児休業ということで休暇を取得したということで、今回100%というような指標を示させていただきました。</p> <p>次に、二つ目のご質問でございます。</p> <p>DVの相談だけにつきましては、確かに検証しておりますが、内閣府の男女共同参画に令和3年度の男女共同参画白書によりますと、女性に対する暴力の状況について、コロナ禍の生活不安やストレス、外出自粛による在宅時間の増加などによりまして、DV相談の件数が全国的には増加して、女性に対する暴力の増加や深刻化な懸念されているということです。</p> <p>このような状況踏まえまして、内閣府では令和2年の4月より、新たな相談窓口として24時間、電話やWEB面談対応のDV相談プラスを開設しているということでSMSやメールも受付しているということで、そのようなことを市の方では市民に一応周知をしております。</p> <p>被害者の支援体制の充実として、このような国や県の相談に対応している関係機関等の周知が図られたのではないかと考え、その結果、市への支援の相談が減少したのではないかとというふうに考えております。</p>
川崎愛会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆様の方から何かご質問ご意見等ありますでしょうか。</p>
城倉純子委員	<p>質問ですけれども、7ページの7の家庭児童相談の充実のところですが、2、3年目になりますか、児童相談員の方とお話をしたことがありまして、その時に件数が多いので、1人100件ぐらいに近い案件を抱えてしまっているというようにお話を聞いたことがあります。</p> <p>今はどのような状況になっておりますでしょうか。説明いただけるとありがたいです。</p>
事務局	<p>今現在、家庭児童相談員令和2年4月から3名体制で取り組んでおります。</p> <p>実際の件数としましては、もちろんこの2カ年の間で終結したケースもございますので、一概には言えないですが、100という数字は、今現在は三名体制になったところで、その部分解消されているかと思えます。</p> <p>具体的な数字では、今数字を持ち合わせておりません。</p>
川崎愛会長	<p>ありがとうございます。城倉委員いかがでしょうか。</p>
城倉純子委員	<p>緊急を要するものそうじゃないもの段階的にいろいろありますので、対応の仕方がそれなりに変わっているんで100件といいましても100件が全部緊急ではないわけですので、はい、わかりました。</p>
川崎愛会長	<p>他に何かありますでしょうか。</p>
山宮留美子委員	<p>36ページの66番子供の貧困対策の推進のところでお聞きしたいのですけれども、無料塾令和3年度、利用人数1,125とありました。</p> <p>これは、名前が今年から希望塾に確か変わったと思うのですね。</p>

	<p>やっぱり無料塾という名前だと、抵抗があるのかどうか、なんですけれども、希望塾ということで皆さんが本当に楽しく学べる取り組みだと思っておりますが、コロナ禍で進学を諦めていたよう中学生も何人かいらっしやるかと思うのですが、今までにわかる範囲で結構ですけれども、進学して、高校にちゃんと無事行けた、という数字的なものがわかれば教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>ご指摘いただいている数値的なものを今持ち合わせていないのですけれども、令和4年の高校受験において、通われていた中学校3年生はすべて受験をされていて、高校への進学を果たしているという報告をいただいております。皆さん、中学校卒業を経て就職ということではなくて、進学をされたという報告をいただいております。</p>
川崎愛会長	<p>いかがでしょうか。</p>
山宮留美子委員	<p>これからの日本を背負っていく子供達が夢を持ってない子供が多い中で、こういう形で市の塾があることで、未来に希望を見いだせるというのはすごいことだと思います。</p> <p>未来が明るく希望に燃えて子供たちがそれこそ成長できるようになっていただければと思いますので、今後もぜひよろしくお願いいたします。</p>
川崎愛会長	<p>続きまして、それではですね、令和4年度推進事業の予定についてです。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(2) 令和4年度龍ヶ崎市男女共同参画推進事業予定 (事務局説明)</p>
川崎愛会長	<p>次に参ります。</p> <p>例年実施しておりますイクメン川柳につきまして、前回の会議の中で名称についてイクメンという言葉について、ジェンダー平等を啓発できる言葉にして、男女共同参画に繋がる川柳への見直しが必要とのご提案がありました。</p> <p>委員の皆様からふさわしいネーミングのご提案がありましたらお願いいたします。</p> <p>何かありますでしょうか。</p>
平出恵美子委員	<p>このイクメン、イクジイをテーマとする川柳について、初めから私は疑問に思っていて、お母さんたちが育児をすることは当たり前のようになっていて、お父さんたちが育児をするとイクメンだということにすごく抵抗があります。</p> <p>お父さんがやるから、お母さんがいるからっていうのではなく、家族全部、地域全部でやって育児子育てをしていけるような、タイトルできたらいいと感じました。</p> <p>どういうタイトルがいいのかな、っていうところまでは、ちょっとまだ難しいのですけれど。</p>
川崎愛会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今平出委員がおっしゃってくださったこと、まさにそうでした2019年に朝日新聞のデジタルで調査をした結果、イクメンという言葉に男性の育児だけが特別視されているというふうに感じる人が7割弱で、嫌い、どちらかといえば嫌いという人が8割近くになっています。なので、もうすでに3年前か</p>

	<p>ら言葉としてはおかしいのではないかという疑問の声が上がっています。</p> <p>社会でも違和感が広がっているということで、日本においても、様々な子育てだけではなくて、いろんなケアをする場面でそのジェンダーをいかに外していくかっていう、そういう動きがあります。</p> <p>まさにおっしゃってくださったように家族とか地域全部で子育てをしていくっていうようなそういうネーミングがふさわしいってところで、ちょっとこちらで考えておりましたのが「みんなで子育て川柳」っていう名前前で、お出ししたいと思います。</p> <p>イクメン・イクジイで募集をして長い間で啓発の役割はもう果たしたかなと。龍ヶ崎市での取り組みということの認知もされているかと思います。</p> <p>ただ言葉自体がもう、違和感が大きくなってしまっているけれども、その取り組み自体に関しては必要だということで、中身の部分で、みんなで子育てをしていくってところを前面に出すような形で募集をしたらどうだろうか、ということなのですけれども、委員の皆様のご意見等いかがでしょうか。</p>
城倉純子委員	<p>男女共同参画の趣旨のもとにこういう募集をするということとは、子育てに限って言いますと、では子供がいらっしゃらない、それから子供が産めない、子どもを産むということを選択しない方は排除するみたいな感じがあって、男女共同参画は子育てだけではないっていうメッセージをちょっと出したいと思いました。</p> <p>まず夫婦間のパートナーシップっていうのが問題ですよ。性別役割分担で。だから一つは夫婦間の平等性を問うパートナーシップ川柳。</p> <p>それから、あと子育て川柳だから誰が子育てしても、おじいちゃんでもお父さんでも、誰が子育てしてもみんなが子育てする子育て川柳。</p> <p>それからあとLGBTの方々の生き方もそれから女性が結婚しないということを選択する方もいる。そういう方々すべてが当てはまって自分の生き方を川柳にできるっていうことがあればすごい共感を呼ぶのではないかと思いますのでジェンダー川柳。</p> <p>その三種類に分けて。受付をする方は大変だと思いますけれども、でも男女共同参画の中で推進していかなきゃならない軸っていう三本柱っていいですか。それに分けるとこのようになるのかなと思います。</p> <p>パートナーシップ川柳、二つ目は子育て川柳、三つ目はジェンダー川柳っていうのは、いかがでしょうか。</p>
川崎愛会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に何かありますでしょうか。</p>
田中加代委員	<p>城倉委員がお話をしてくださった、子供がいない夫婦というのは、プライバシーの問題もあるので、そういったところを名乗らないということもあるとは思いますが、龍ヶ崎市が行政として、そういうマイノリティーの人達にも目を向けているということは姿勢としては示すべきかなと感じます。</p>
川崎愛会長	<p>そうしますと、田中委員は、どういったネーミングがよろしいかと思われますか。</p>

田中加代委員	<p>そうですね先ほど会長がお話をくださった、みんなの子育て川柳が冠にあって、先ほど城倉委員がおっしゃったようにジャンル分けされているのが良いかなと思います。</p>
川崎愛会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>城倉委員がおっしゃってくださいましたが3種類のものってということで、パートナーシップ川柳とジェンダー川柳の区分については、どういうふうになるのでしょうか。</p> <p>ジェンダーもパートナーシップも、私の理解ですとかなり近いものであり、応募する方たちにしてみるとちょっと難しいかなと思うので、いかがでしょうか。</p>
城倉純子委員	<p>はい、認識がすごくバラバラですよ。</p> <p>例えばジェンダーって言いますと、今の中学、高校生はジェンダーとはLGBTのことだって、その以外のことじゃなくて、ジェンダー=LGBTって思っているようです。</p> <p>ジェンダー問題とかジェンダー課題をはらんでいるっていうふうには考えてはいないようですね。</p> <p>パートナーシップというジェンダーの違いと言いますと、パートナーシップは人間間のパートナーシップなので、例えばご夫婦それから親子兄弟とか、親戚の方との人間対人間のパートナーシップで家族という意味合いをとっても含むと思います。</p> <p>夫婦を中心にした家族というのがパートナーシップという表現の中に包括されると思います。</p> <p>ジェンダーは、いろいろ政治家の方が失言されていたり、この前の吉野家の話題にも浮上しましたことなど、性別が原因で支配されたり、それから軽蔑されたり侮蔑されたりっていう現象がある。</p> <p>やっぱりコメントをつける必要があるかもしれませんね。</p>
小林史人委員	<p>川柳の名称の件ですよ、子育てについてと思うのですが、僕たちは青少年育成をやっている中で、地域全体で青少年育成をやっている、子育てを地域全体でやっていると、というテーマを僕ら持っています。</p> <p>お子さんがいらっしゃるご夫婦とかも多いと思うんですよ。</p> <p>しかしその方たちに今回フューチャーする内容じゃないと思っていて、地域全体でというイメージで名称作って、一本化した方がいいと思います。</p> <p>手間もかかりますし。</p> <p>例えば地域の子どもを地域全体で見るといって、そういう名称にしたらいいいのではと思います。</p> <p>子供たちは宝だと僕たちは思っているんで、地域の宝育成川柳とかにして、親に限らない、お子さんがいない方でも、みんなで自分の子供じゃなくても見ていこうよっていうテーマ入れてあげると、マイノリティーの人達もわかりやすいのかなと思います。</p>
川崎愛会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
城倉純子委員	<p>今のご意見、とてもよくわかりました。</p> <p>みんなで子育てっていうことは、つまりお父さんやお母さんだけでなく地域の方も、誰もが知らない子供でも、近くで遊んでいて危ないことがあれば関与するとか、そういうことを含めるって仰ってくださったのがよくわ</p>

	<p>かりました。</p> <p>男女共同参画推進委員会が扱っているのだから、みんなで子育て川柳の中にジェンダー観とか、そういうのが入っていればいいわけですよ。</p> <p>もちろん同性婚であるとか、そういうことも含めますし、先ほど小林委員がおっしゃっていただいたようなその地域での子供たちの育ちていうところのもできれば含められるようなところでどうでしょう。</p> <p>みんなで子育て川柳、地域の宝子育て育成川柳、などどうでしょう。</p>
横岡明彦副会長	<p>そもそもこのイクメン川柳が始まったときはですね、時代の時の流れで男性の方がどんどん育児でも何でも一緒に同等にやりましょようになってきました。その推進という意味でイクメンということができてきたわけですよ。</p> <p>今現在はイクメンはもう、当たり前というか、育児をやって子育てをするとか、一緒に家庭のことをやることはですね、それは当たり前の時代になってきたという環境の中で、イクメン川柳イクメン川柳っていうのはちょっと時代遅れなのかなと。</p> <p>応募する方がこれそもそもイクメン・イクジイ川柳の応募される方って本当に庶民的な感覚で投稿されているのですよね。</p> <p>そういう意味では応募しやすいようなものにしていただければと思います。あまりこう専門的なことになると、応募する方もわからなくなるように感じるので、一般の方の応募しやすいようなタイトルにしていきたいなど。</p>
川崎愛会長	はい、ありがとうございます。
山宮留美子委員	<p>今のお話の通りだなと私も思うのですが、やはり世の中全体がそういう形で、イクメンとかイクジイとかじゃなくて、みんなで子育て川柳っていうのはもちろんいいなとも思いますし、具体的なあまりにも書きすぎてしまうと投稿しづらいというご意見もその通りだなというふうに思います。</p> <p>新しくするならば、今まではこうだったけれども、今度からこうなりますというような、注釈をちゃんと入れていくと良いと思います。</p>
川崎愛会長	<p>これまでのイクメン・イクジイ川柳で実績もある中で、ネーミングは変えていくというところですが、あまりこう分けることなくしようと。</p> <p>大きなタイトルをつけておいてその中で、ジェンダーにとらわれないってことであるとか、地域でどうやって次の世代を担う人たちを育てていくのかとか、同性婚などいろんな家族の形がある中で、子供が一番真ん中にある形での子育てに、周りの人たちがどういうふうに関わっていくのかということ募集をする。</p> <p>ただ、例年よりもネーミングの決定をしていないために募集が遅れているということもありまして、この場でネーミング等を決めて、募集に入りたい状況のようです。</p> <p>ではネーミングとしましては、みんなで子育て川柳っていうことにして、そこにこんな人もぜひ、応募してくださいみたいな注釈をいれる。様々な家族の形があるっていうこと、それから子育てに関わるっていうのは、別に家族を超えて地域で育てるっていう視点もあるよとか、そういったことと、他にはどんなことを入れたらよろしいでしょうか。</p>
横岡明彦副会長	<p>子育てという冠はちょっと変えたほうがいいのではないかなと思います。</p> <p>子育てでもジェンダーでもどんなものでもいいですよ。仕分けをして、</p>

	<p>審査するっていうのも一つの方法ですよ、ただ子育てっていう文字を入れると今までとさほど変わらないと思います。</p>
川崎愛会長	<p>ここで、事務局の方からも案をいただいております、例えばですね、名もなき家事川柳というのをいただいているのですが、ご説明いただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>名もなき家事というのは2017年に大和ハウス工業が発表した共働き夫婦の家事に関する意識調査で話題となったものというふうにも聞いております。共働き世帯における名もなき家事の担い手は、9割が妻であるとされており、担い手の疲弊や夫婦間の不和の原因となるため、可視化する対策が必要だということで、それをわかってもらうために募集する川柳です。</p> <p>名もなき家事の中には、例えば裏返しになった衣類をなおすとか、ちらかったおもちゃの片づけとか、あとは排水口の掃除、献立の考案、調味料の補充などです。</p> <p>もう一つは、育児川柳です。</p> <p>東京都が6月29日に育児休暇の愛称を育児としたように職場の理解が得づらくことなどを理由に育児取得をためらう人が多いため、男性の育児取得率100%の当市のように職場の理解に繋がるような川柳を募集したいということで、事務局からはこの2点を考えてはいたのですが、今皆様からのご意見などをお聞きしますと、ちょっと優先順位が低くなってしまいますと感じます。</p>
川崎愛会長	<p>はい、ありがとうございました。</p>
小林史人委員	<p>子育て川柳ですよ。</p> <p>イクメン・イクジイっていう名称が良くないという話なので、家事までいくとちょっと本筋がずれているのかなと思います。</p> <p>今、委員の皆さんから出た意見をもとに、事務局にもう一度精査していただいて、考えていただかないと、今ここで答えを出すのは難しいと思います。</p> <p>こういうテーマで作ったらいいのでは、という意見もこれだけ出ていると思うので、あとは事務局の方にお任せしないと多分終わらないと思うのですが。</p>
川崎愛会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
國府田克也委員	<p>すごく皆さんのおっしゃることわかりますし、その通りだなと思うこといっぱいあるんですけど。</p> <p>そもそも川柳って、ちょっと面白おかしくというか。こういう川柳のはしりってサラリーマン川柳だとか、そういうところから始まって、こういうのがあるのではないかなと思っています。</p> <p>別にそのすべてを網羅しなくても子育てのところずっと焦点を当てて、これはこれが一つの事業という流れとしてそれを生かしてもいいと思います。</p> <p>皆さんが投稿しやすいような内容になってくると、投稿が増えてくるし、あまりマイナスの投稿は出てこないのではと。</p> <p>だからその辺はあんまりそのぎゅっと締めないで緩やかに考えるっていうのはどうなのかなと思います。</p>

城倉純子委員	<p>今のご意見、皆さんがおっしゃること一つ一つが本当にそうだなと思っておりますし、今のご意見の川柳に対する、感想もそうですよね。ユーモアで苦しいことも悲しいことも蹴飛ばしてっていう。あとちょっと皮肉ってというそういうことが川柳の味なわけですよね。</p> <p>私の場合は男女共同参画推進委員会なのだから、これから子育てもひっくるめた一人一人の生き方を尊重してどのような生き方を取るかっていうのにシフトをするいい機会では、と思いました。</p> <p>もし、子育てにこだわるのでしたら、例えば、子どものある人もない人もとか、最初の趣旨のリード文でしっかりと書く必要があると思います。</p> <p>事実婚もお互いに信頼を持って暮らしているのであれば、そういうパートナーシップのあり方なんかも選択していく時代なので、そんなことも含めた川柳になれば、男女共同参画推進委員会が主催している川柳としては合っているのかなと考えました。</p>
川崎愛会長	<p>事務局の方からいかがでしょうか。今後の方向と、もし、ジェンダー川柳っていうという大きなものにしたときに、何らかの説明というか、そういうものが必要となってくると思うのですけれども。</p>
事務局	<p>今年の川柳の募集の流れについてなんですけども。</p> <p>例年6月から7月31日までを募集の期間としていたところでした、もう7月に入ってもいるので、この会議で名称等の方向性が決まり次第すぐに着手したいと考えております。</p> <p>また、11月の男女共同参画推進月間にやはり表彰式をやりたいという気持ちがありまして、そうしますと、9月末ごろに予定している第2回の男女共同参画推進委員会で、現委員の皆様川柳の選定なども、お願いしたいと考えております。</p> <p>募集の方法としましてはタイミングが間に合えば広報誌、メール、ホームページと、あとは全国的にその川柳が好きな人達が見るような川柳の雑誌も活用しながら、これから川柳を集めていきたいと考えております。8月末ぐらいまでを募集期間にし、川柳をまとめさせていただいて、9月に皆さんで入賞作品の選定をしていただきたいと思いますと考えております。</p>
川崎愛会長	<p>お願いいたします。</p>
城倉純子委員	<p>やっぱり題名を決めるっていうのは大変なことですよね。</p> <p>今まで子育てを中心にして募集してきたから、突然、生き方に全体に広げるっていうことも大変なので、段階的に変えていくっていう方法もありますよね。</p> <p>ですからご提案いただいたみんなで子育て川柳というふうにして、それで、趣旨のリード文をきちっと精査してのせて広報することが必要かなと思います。</p>
川崎愛会長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
平出恵美子委員	<p>この企画の参画を身近なものとしてとらえてもらうために、その一環として川柳が利用されているのであれば、ひとまとめにこれに詰めてしまうとわかりにくくなるので、その今回、イクメン・イクジイのテーマが男性の子育て本番身近なものにしてもらうっていう子育てのことなのであればやっぱり幅広くみんなで子育てみたいな感じのわかりやすいものからいった方がいいのではないのかなと感じます。川柳に関してもテーマも重く決めなくても</p>

	いいのでは、と感じました。
川崎愛会長	はい、ありがとうございます。
横岡明彦副会長	<p>それぞれ委員の方の中でも、このイクメン・イクジイ川柳の趣旨がまとまってないところがあるような気がするのですね。</p> <p>まずは皆さんの考え方を決める必要があると思います。どういう趣旨でいくのか、子育てに特化するのか、それとも男女参画としてのまた違う考え方を持って新しい川柳を募集するのかと。</p> <p>それがまとまってないから。こんな話になっているのですよね。</p> <p>だからここで決定の皆さんの意見をまとめてからでないと、題を決めるのはちょっと難しいのではないのでしょうか。</p>
小林史人委員	<p>私は、名称が良くないから、子育てっていう趣旨は変えずに名称だけ変えようという事務局の意思だと感じます。</p> <p>男女共同参画としての川柳に変えようっていうことであれば、結構大きなテーマなので、ここで決めてください、とまらないと思うのですよ。</p> <p>これは事務局の説明が必要だと思います。</p> <p>もうそもそもの根本変えたいのか、それとも名称だけ変えたいのか、そういうことははっきりしないと進めないと思います。</p>
事務局	<p>今回、議題に上げましたのは、趣旨だとか、中身のことでなく、前回の議題の中で出た名称について、イクメン・イクジイという言葉自体をやめて、ジェンダー平等を啓発できる言葉にしていきたいということで、ご審議いただきたいと思います。</p>
城倉純子委員	<p>男女共同参画推進委員会っていうのは事務局の言う通りにやるところではないと思うのですが、事務局の方がたたき台として提案してくださったことは本当に議論を尽くしてきたものだと思いますので、そのような方針で今回進めたいっていうのであれば私は特に強く反対はしません。</p> <p>でもやっぱりコロナで今までいろんなところが見えてなかったところの行き届いてなかったところの問題点が出てきましたね。若い女性の自殺も多かったし、母子家庭が貧困に陥り、DVが増えたという。一番多かったのはやはり女性と子供の問題でした。</p> <p>だから、男女共同参画の原点に戻って考えるっていうのは大切かなと思って意見を出したのですが、これだけの意見が今日では出ましたので、皆さんで決めたことに従いたいと思います。</p>
岡田部長	<p>ここでの議論というのは、最終的には男女共同参画を進めるためにどういう事業をやっていくかということなので、城倉委員もおっしゃっていたように川柳のテーマ自体をもう少し子育てではなく広げるとか、そういうことも有りだとは思いますが。</p> <p>イクメン・イクジイということではなくて、まず子育てに絞って、夫婦間の子育てだけではなくて、地域でも子育てとか、いろいろな視点で、みんなで子育てをやるということでの川柳を今回は募集させていただければなというように思います。</p>

	<p>今回はみんなで子育て川柳として募集させていただいて、もう少し広くジェンダーとかそういうものに広げていければというふうには考えますので、そのときにはまた皆さんのご意見やお力を拝借したいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
川崎愛会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは本年度の募集に関しましては、みんなで子育て川柳ということで進めていくということで段階的に男女平等推進なども盛り込み、啓発していくという、そういうことも非常に効果的だと考えます。</p> <p>皆様どうもありがとうございました。</p> <p>続きまして、その他ですね、事前に田中委員から皆さんに共有しておいていただきたい情報ということで2点ございますのでお願いいたします。</p>
田中加代委員	<p>先日こども家庭課へメールさせていただいた案件が2点あります。</p> <p>一つは私今個人として慶応大学の前野先生のところでウエルビーイングという概念について学んでおりますが、このウエルビーイングっていうのは端的に幸福学とか幸福論と言われていることで、ネガティブをポジティブに変えていくとか、また前向きなとらえ方をするという、心理学とかも含む学びなのですけれども、それを地域の中で広く取り入れていく必要性もあるのではないかと感じます。</p> <p>現在、ウエルビーイングについては岸田内閣のデジタル田園都市構想の中にも取り入れられていまして、国の施策を地元で落とし込んで、子供の教育に向けてとか、そういったことも必要だと感じています。</p> <p>そしてもう一つが、大和市の方でおひとり様の助成、おひとり様の支援事業というのが立ち上がりまして、例えば生前贈与のレクチャーをすることとか、おひとり様を孤立させない、そういった事業を立ち上げています。身寄りのない人達やマイノリティの人も安心してこの町に暮らしていけるよう、行政として主体的にアクションを起こしていただけたら嬉しいなということで、その2点メールに書かせていただきました。</p>
川崎愛会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>ウエルビーイングとそれからマイノリティーのまなざしっていうところでお話をいただきました。</p> <p>あとはマイノリティーっていうところでいうと、社会福祉協議会からコミュニティソーシャルワーカーが出向いて、そういう方たちへのアウトプットをする、あと集いの場を作る、そういったようなこともやっています。本当に広く、NPO・NGOそれから行政・社協など様々な形での支援が必要になってくる思っております。</p> <p>事務局から何かございますでしょうか。</p>
事務局	<p>委員任期及び次回審議回予定について (事務局説明)</p> <p>委員の皆様には、「第2次龍ヶ崎市男女共同参画基本計画」の策定にあたりまして、貴重なご意見ご提案を頂き、感謝申し上げます。</p> <p>さて、委員の任期についてですが、任期満了が9月30日となっております。</p> <p>市民代表の委員におかれましては、引続きのご協力をお願い申し上げるとともに、公募につきましては、翌月のりゅうほー8月前半号に掲載を予定しております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

	<p>また、学識経験者の皆様におかれましては所属団体からのご推薦を頂戴いたしますので、引継ぎのお力添えをお願い申し上げます。</p> <p>なお、次回の審議会の時期は未定ですが、今後川柳の募集をし、次回の審議会では、全国から集まりました川柳についてご審議を頂き、入賞作品を決定していきたいと考えております。なお、例年ですと、多くの応募作品が予想されますので、審議会前に、委員の皆様川柳の優秀と思われる作品の一次審査をお願いできたらと思います。ご協力よろしくお願いたします。</p>
川崎愛会長	<p>それでは、お時間もだいぶ経過しておりますので、これで第一回会議を閉じたいと思います。進行を事務局にお返しします。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>川崎会長、議事進行ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様におかれましても、慎重審議ありがとうございました。</p> <p>これで、本日の会議を閉会いたします。</p> <p>皆様お疲れ様でございました。</p>

上記については、令和2年7月13日に開催した、令和2年度第1回龍ヶ崎市男女共同参画推進委員会の会議録に、相違ないことを確認したので署名する。

令和 年 月 日

会 長 _____

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____